

令和5年1月臨時会議提出案件資料

1月臨時

名 称	内 容													
出産・子育て応援事業費 4 衛生費 1 保健衛生費 2 予防費 【健康増進課】	補正額	99,341千円												
	財源内訳	国県支出金	市債	その他	一般財源									
		千円 83,140		千円 1	千円 16,200									
	〔事業目的〕 国の「出産・子育て応援交付金」を活用し、令和4年度に妊娠届や出生届の届出を行った妊婦・子育て世帯に対する相談支援や経済支援に要する経費													
〔事業概要〕 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・事務費等</td> <td style="text-align: right;">1,097千円</td> </tr> <tr> <td>・補助員報酬</td> <td style="text-align: right;">277千円</td> </tr> <tr> <td>・機器保守等委託料</td> <td style="text-align: right;">9千円</td> </tr> <tr> <td>・システム改修等委託料</td> <td style="text-align: right;">1,958千円</td> </tr> <tr> <td>・出産・子育て応援給付金</td> <td style="text-align: right;">96,000千円</td> </tr> </table>					・事務費等	1,097千円	・補助員報酬	277千円	・機器保守等委託料	9千円	・システム改修等委託料	1,958千円	・出産・子育て応援給付金	96,000千円
・事務費等	1,097千円													
・補助員報酬	277千円													
・機器保守等委託料	9千円													
・システム改修等委託料	1,958千円													
・出産・子育て応援給付金	96,000千円													
※99,341千円のうち、70,092千円を令和5年度へ繰越 （繰越明許費）														

# 出産・子育て応援事業について

健康福祉部健康増進課

国の令和4年度第2次補正予算で創設された「出産・子育て応援交付金」（実施主体は市町村）により、安心して出産・子育てができる環境を整えることを目的とするものであり、具体的には、令和4年4月以降に妊娠届や出生届の届出を行った妊婦・子育て世帯に対して、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と、出産育児関連用品等の購入にかかる費用の助成として「経済的支援（計10万円相当）」を一体的に実施する。

## 1 伴走型相談支援

従来より実施してきた子育て世代包括支援センターにおける支援等を拡充し、妊娠届出時・妊娠8か月時・出産届出時を目安として、保健師等が妊産婦（夫・パートナー・同居家族も一緒に面談することを推奨）と対面による面談（オンラインを含む）を基本として、アンケートも併せて実施する。

なお、妊娠届出時及び出産届出時の面談実施が経済的支援（出産・子育て応援給付金）の給付条件となる。

### 〈面談・アンケート実施時期〉

- ① 妊娠届出時
- ② 妊娠8カ月前後
- ③ 出産届出時から乳児家庭全戸訪問までの間

### 〈子育て世代包括支援センター〉

安心して子どもを産み・育てられるよう、妊娠期から子育て時期を通じ、心配なことや悩みをお伺いして、情報提供やサポートを行うとともに、医療機関や子育て支援機関等と連携し、切れ目のない支援を行う。本市では健康増進課・こども家庭課・こども保育課が担い、本事業については、健康増進課が窓口となる。

## 2 経済的支援（出産・子育て応援給付金）

### （1）支給対象者

- ① 出産応援給付金 妊婦（面談を受けた者）
- ② 子育て応援給付金 子どもを養育する者（面談を受けた者）

### （2）給付額

- ① 出産応援給付金 妊婦1人当たり 5万円
- ② 子育て応援給付金 子ども1人当たり5万円

※支給方法は支給対象者の口座振込とする。

※令和4年4月以降事業開始日までの出産については一律10万円

※所得制限は設けない。

## 3 事業開始日

令和5年2月1日（本市の予定日）

#### 4 補正予算額

99,341 千円

支援項目	伴走型相談支援	出産・子育て応援給付金	システム構築等経費
事業費	○補助員報酬 277 千円 ○事務費等 879 千円 ○機器保守等委託料 9 千円	○給付金 96,000 千円	○システム改修委託料 1,958 千円 ○事務費等 218 千円
財源	国 2/3 県 1/6 市 1/6	国 2/3 県 1/6 市 1/6	国 10/10

(1) 伴走型相談支援 1,165 千円

補助員報酬（会計年度任用職員） 277 千円

事務費等（消耗品費・郵券代・補助員共済費等） 879 千円

機器保守等委託料 9 千円

(2) 出産・子育て応援給付金 96,000 千円

対象者 令和4年度の出生者 720 名

令和4年度に妊娠の届出をした者（上記出生者数除く） 480 名

720 名 × 100 千円 = 72,000 千円

480 名 × 50 千円 = 24,000 千円

(3) システム構築等経費 2,176 千円

システム改修委託料 1,958 千円

事務費等（オフィスライセンス使用料） 218 千円

※うち令和5年度へ 70,092 千円繰越（繰越明許費） -

#### 5 周知・広報

対象者へのプッシュ型通知、市政だより（2月1日号）、市ホームページ等

#### 6 スケジュール（予定）

令和5年1月中旬 必要書類の作成

2月1日～ 申請書等の発送・配付、申請受付開始

3月上旬～ 振込開始